

播磨北小学校とお別れ
閉校式が行われました

播磨北小学校は昭和56年4月1日に、4校目の町立小学校として開校しました。これまで、26年間で通った児童は1720人余りでした。3月25日(日)の閉校式には、歴代の校長先生や卒業生も駆けつけて、壇上の校旗や校舎を見つめていました。
また、在校生たちは3月23日(金)に修了式に引き続き閉校式を行い、慣れ親しんだ北小学校に大きな声で「さようなら、ありがとう」と、お別れを告げて、校歌を斉唱しました。
児童たちは4月から、蓮池小学校、播磨西小学校、播磨小学校に転校します。播磨北小学校跡地の利用については今後引き続き協議が進められます。



「ありがとう さようなら北小2006」全校児童によるの文字

▲校旗が返されました

町道「大中二見線」の大中地区が完成(住吉橋西側から町道古宮大中線まで)

町道大中二見線は、町北部を東西に走る都市計画道路です。東に隣接する明石市の県道二見港線から野添4丁目の蓮池の北で県道別府平岡線と重なるまでの道路は、すでに完成し住民の皆さまにご利用いただいています。新たに、住吉橋の西から町道古宮大中線までの260mが4月1日に完成しました。



▲赤線部分が新しくできた町道です

播磨ゆめづくり塾合同イベント
「子ども夢フェスタPart2」

平成18年度は3つのゆめづくり塾が独自の活動を行ってきましたが、活動の総仕上げとして、合同のイベントを3月17日に開催しました。



▲各コーナーに列ができるほど大盛況でした

障害者ミニスポーツ大会
たくさん笑顔があふれました

3月24日(土)にはりまシーサイドドームで催された障害者スポーツ大会は、今年で第2回目の開催となりました。
NPO法人スポーツクラブ21はりま、NPO法人文化・福祉・人権サポートアエソン、播磨南高等学校など多くのボランティアが、趣向を凝らしたスポーツやゲーム約10種類を準備し、参加者は高得点を狙って次々と各コーナーを回っていました。



▲元気いっぱい楽しめました

このイベントは、子どもから高齢者まで播磨町の住民の交流の場を設け、地域ぐるみでまちづくり、子育て支援を実践していくこととするもので、少し肌寒い中、たくさん子ども連れのご家族にご参加いただきました。
イベントでは、囲碁ボールの体験コーナーやリントゲーム、輪投げの他、育児相談のコーナーも設けました。用意していた焼き芋、ポン菓子、カートンドックは追加したものの11時すぎには完売するほど大好評でした。
イベントの運営には、塾生のほか多くのボランティアの方に参加していただきました。ご協力ありがとうございました。

【キャストはりま塾・エンジョイ二期 倶楽部塾「心」そたち場集隊塾】

東播磨ふれあいネット (BAN-BANテレビ 11チャンネル)
播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

5月の放送予定 (収録場所 高砂市)

前半 5月7日(月)~20日(日)

- 特集 高砂市民病院からのお知らせ(高砂市)
- ふれあいインフォメーション(各市町からのお知らせ)

後半 5月21日(月)~6月3日(日)

- 特集 地球温暖化防止への取り組み~稲美町にできること~(稲美町)
- ゆうゆうライフ(播磨町 琴三味線教室)

放送時間(第1・3月曜日の①以外は再放送) 30分番組

- 月・水・金 ①午前10時 ②午後5時 ③午後10時
- 火・木 ①正午 ②午後7時
- 土・日 ①午前9時 ②午後6時 ③午後11時

いいね!
はりま

町政
レポート
No.4



▲青年海外協力隊のお話を伺いました

☆風薫るさわやかな季節となりました。町内の学校・園でも多くの子どもたちが入学式を迎えました。おめでとうございます。子どもたちが安全で楽しい学校・園生活が送れるよう、サポート体制をさらに充実させていきたいと思っています。

☆青年海外協力隊でマーシャル諸島に派遣されていた、吉田のリ子さんも4月から播磨西小学校の教員として復帰されました。海外での体験談などを是非、教育現場で伝えていただきたいと思っています。

☆4月は行政にとっても、人事異動・制度改正・新規事業の開始など年度初めにあたっての新たな緊張感があります。助役に代わる副町長が誕生し、収入役に代わる会計管理者を理事に加え、理事も4人体制になりました。

19年度の町政推進に向けて新たな門出です。誠心誠意住民の方々へ向き合い、対話と協働を進めていきたいと思っています。

☆コミュニティFM放送「BAN-BANラジオ」が開局しました。オープニングセレモニーに参加しましたが、テレビとはまた違った方法で地域の話や情報が伝達されることに期待しています。86.9MHzです。一度、聞いてみてくださいね。

☆播磨町では、4月1日より乳幼児医療費助成制度を拡大し、小学3年生までの医療費負担をゼロにしました(所得制限も撤廃)。

少子化対策には経済的な支援も必要だと思っています。妊婦健康診査の補助も後期は県費で、前期は町単独でしており、子育て支援策の充実を図っていききたいと思います。

播磨町長 清水ひろ子

わんぱくはりまっ子



あんどう ゆい
安藤 優衣ちゃん(1歳)
南大中

ゆいは宝物!!
これからも、すくすく元気に育ててね。
お父さん・お母さんより



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

4月、新しい出会いがありましたか? 私は広報を担当して、毎月いろんな人と出会います。取材をさせていただいたり、イベント会場写真を撮らせていただいたり、ケーブルテレビでの出演をお願いすることもあります。
特に写真は、腕章や名札をつけて広報写真であることがわかるよう心掛けて、できるだけ声を掛けていただくといいです。写真は小さな出会いの連続です。でも、大切な出会いです。撮らせていただいた写真が必ず掲載されるわけではなく、せんが、いつもたくさんの方々にご理解とご協力をいただいていることに感謝しています。今月の表紙も小さな出会いの中で撮らせていただきました。入園式の帰りという事で桜の景色と、とてもマッチして思わず声を掛けさせていただきました。
これからも、町の中やイベント会場などで、または直接、住民の皆さまにお話しすることがありますが、町広報事業への協力をお願いします。
※広報はりまに掲載された写真は、写っている方にデジタルカメラのデータをお渡しすることが出来ます。事前に、お電話で企画グループまでご連絡ください。(宮)

楽屋裏